

7 - 5 地震予知研究計画に基づく地磁気永年変化精密観測 1977年1月～1983年12月

Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of
Earthquake Prediction Research, January, 1977 - December, 1983

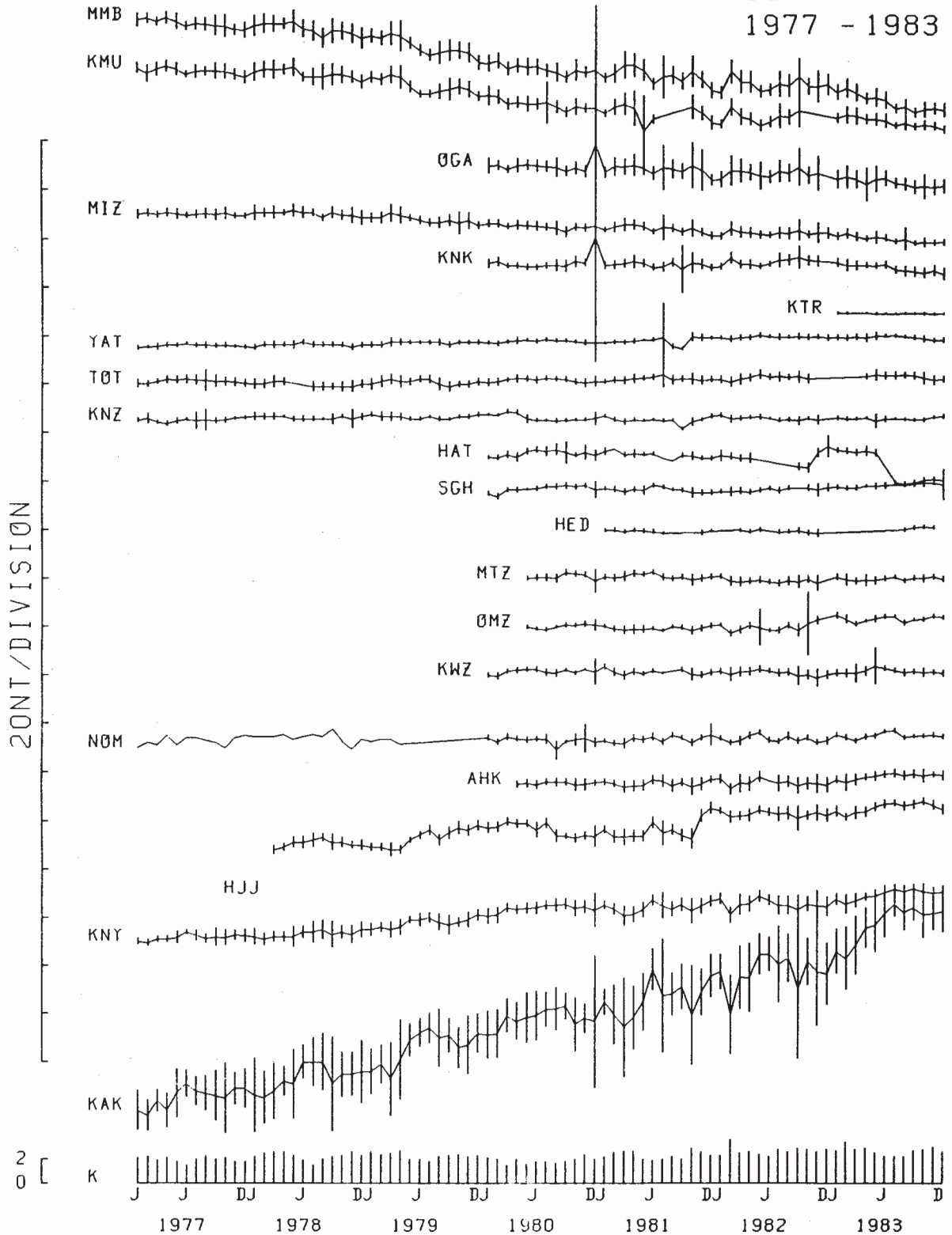
地震予知研究計画・地磁気研究グループ
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

1977年1月から1983年12月までの期間に於ける柿岡を基準とした地磁気永年変化観測点のプロトン磁力計による全磁力夜間値差を整理収録したものである。各地点の全磁力差, 柿岡の全磁力値, 柿岡の該当時間帯のK指数それぞれの月平均値を第1図に示す。スケールは20 nT / 1目盛。尚, 使用データは, 1980年3月以前は00時40分～01時20分の5個, 1980年4月以降は00時40分～03時00分までの15個, の10分毎の値である。但し, 男鹿, 金華山については全期間を通じて5個である。又, 同時に上記の値の1983年10月から12月までの日平均値を第2図に示す。スケールは図右端に示すように10nT / 1目盛, K指数は5 / 1目盛である。

前回の報告でも示したが, 初島(HAT)で1982年10月から12月にかけて8nTの増大, 1983年5月から7月にかけて12nTにも及ぶ減少が認められる。東大地震研の調査によると人工擾乱による可能性が大きい。その他顕著な異常は認められない。最近3ヶ月の変化に関しても, 異常は認められない。

MONTHLY MEANS OF
DIFFERENCE IN TOTAL FORCE

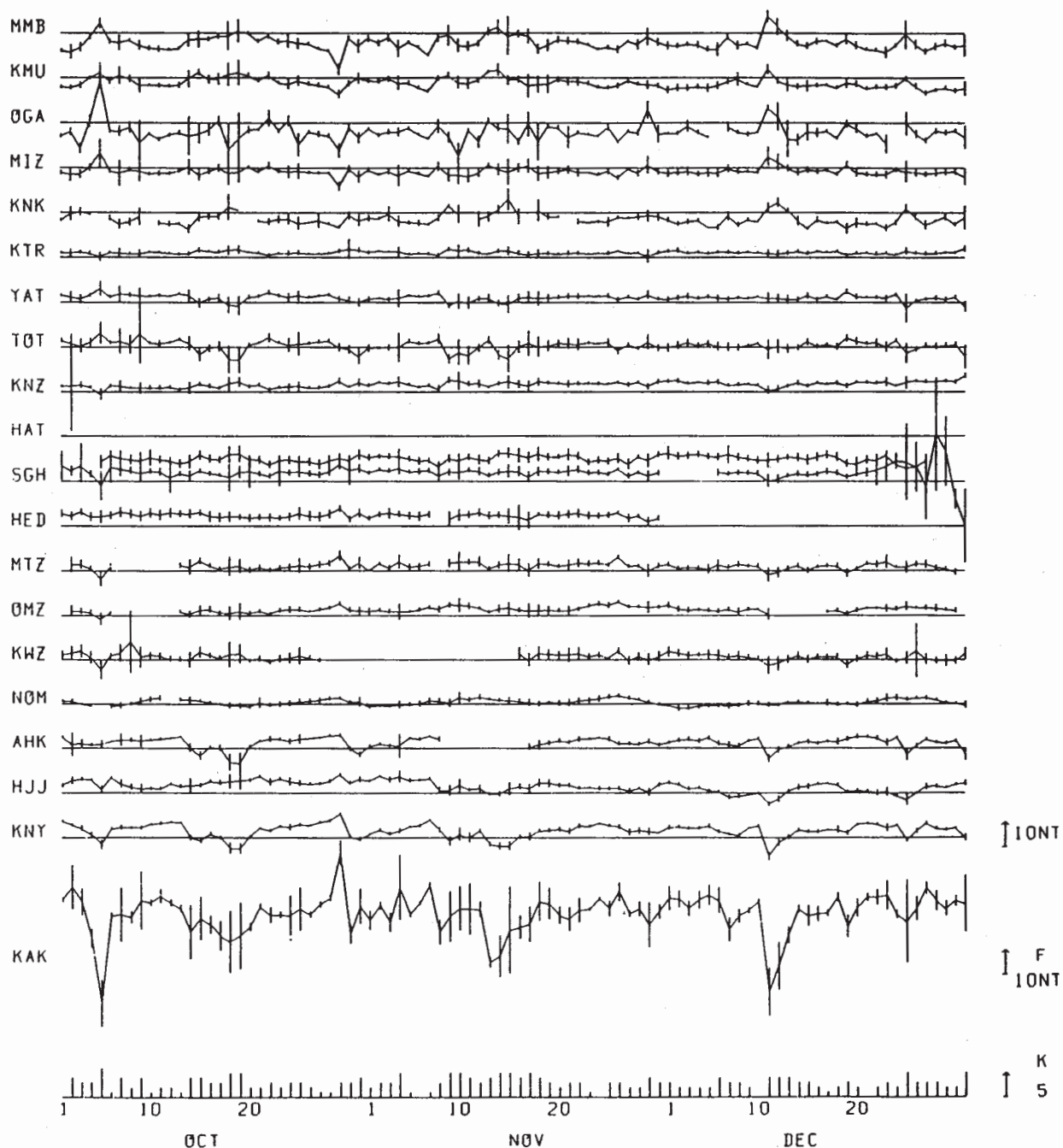
1977 - 1983



第1図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化（月平均値）
1977年1月～1983年12月

Fig. 1 Month-to-month change of the difference of nighttime total force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from January, 1977 to December, 1983.

DAILY MEANS OF
DIFFERENCE IN TOTAL FORCE
OCT - DEC . 1983.



第 2 図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化 (日平均値)
1983 年 10 月 ~ 1983 年 12 月

Fig. 2 Day-to-day change of the difference of nighttime total force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from October, 1983 to December, 1983.